

活動には各種行政関係会議への参加もあります。保護者代表としてどの会議も大変有意義な会議ばかりです。

また十一月二十二日には会員が一堂に会す研究大会を行います。内容はアウトメディアに関連する講演会を検討しています。有意義な大会になるよう計画していますので、多くの皆さまから参加をお願いします。

さて、今年の市P連の活動は例年通り市内各地十ブロックで交流会が開催されます。野球やバレーボールの球技大会を始めとする熱い戦いが繰り広げられます。積極的に参加され親睦を図る場にしてほしいと思います。

今年度もよろしくお願ひします。



上越市小中学校PTA連絡協議会

会長 保倉政博
(城北中学校PTA)

親子でアウトメディア!

また、各単位PTAでの情報や課題がありましたら提供してください。活動と合わせ市P連ホームページに掲載し紹介して参りますので是非ご覧ください。

今回、市P連では五月に行なわれた代議員総会で承認を得て「アウトメディア宣言」を發表しました。(詳しくは四ページ参照)

子ども達に情報機器を買い与えるのも大人、利便性と危険性を教えネットトラブルから守るのも私たち大人の役割です。情報機器は現在も、またこれからもなくてはならない大切なツールです。今一度、親子で話し合つて家庭でのルールを作つていただけたらと思います。

市内には七十七の小中学校があり地域性や特色も様々です。すべての小中学校生がそれぞれ安全に登校し、学校生活を過ごし、そして安心して学び育つことを願っています。

平成28年度 上越市P連の活動

- 4月20日(水) 第1回 理事会
- 5月14日(土) 代議員総会
- 6月～ 各ブロック交流会
- 8月 市長表敬訪問(要望書提出)
- 8月20日(土) 日本PTA 徳島大会(～21日)
- 9月24日(土) 新潟県小中学校PTA魚沼大会
- 10月21日(金) 関東ブロック茨城大会(～22日)
- 11月23日(水) 上越市P連 研究大会

上越市P連研究大会

11月23日(水) 勤労感謝の日
後日、案内をいたします。
是非参加をお願いいたします。

平成28年度 本部役員紹介



会長	保倉 政博 (城北中P)	吉川 祐介 (保倉小P)
副会長	大塚 忍 (附属小P)	大山 剛司 (大町小P)
	安田 智誠 (南本町小P)	小林 頭郎 (直江津南小P)
	堀口 清隆 (雄志中P)	江嶋 正樹 (吉川中P)
	吉野 浩幸 (大島小P)	岡田 龍一 (中郷小P)
加藤 達也 (明治小P)	野田 晃 (安塚小校長)	流石 義紀 (城西中P)
野田 晃 (安塚小校長)	加納 博志 (吉川中校長)	小澤 裕 (飯小P)
加納 博志 (吉川中校長)	齊藤 知之 (国府小P)	

一アクトメディア宣言から2ヶ月一

今年5月に「ネット被害を防止する」「快適な睡眠を確保する」ことを目的とし、市P連から子どもたちがメディアから離れるための具体策について宣言がなされ、2ヶ月が経過しました。その後、家庭、地域、学校は、さまざまな受け止めをしながらも、日々子どもたちもまたちに接しながら、対策を講じることが急務であると実感してきているのではないだろうか。

保健室から見える メディア依存の影

2013年、厚生労働省から、全国中高生の52万人

がネット依存症である可能性が高いと報告されました。その3年後の今、上越市内の子どもたちもネット依存という状態はあるのでしょうか？
子どもたちの健全な成長発達を見守る市内各学校の保健室から、ネットやメディアが及ぼしている影響の実態を紹介します。

保護者の方から「起きないので休ませます」の欠席連絡が続き、心配していたら、毎朝4時にメッセージが送られてきているという友人の報告が伝えられました。
(中学校)

一人で留守番をする時、家のパソコンを使って動画を見始めたら夕食も食べずに夜中まで見てしまい、翌朝遅刻をしました。(小学校)

夜、上の兄弟と一緒にゲームの技を競うことで就寝が遅れ、毎日遅刻が続いています。
(幼稚園)

テスト勉強中もスマホを机の上に置き、肌身離さない。風呂の中にも持ち込んで入る。相手からメッセージが届いたらすぐに送り返さなければ学校で仲間外れにされることをとても心配しています。(中学校)

通信ゲームで、対戦相手に対して抗心を燃やし、夜中じゅうのめり込み、時々徹夜をして登校してきます。(高校)

高校入学を機に、待ちに待ったスマホを買ってもらい、夢中になって使い睡眠時間が極端に少なくなり、毎日保健室で熟睡する生活です。(高校)

家庭での約束を守れずに長時間 iPad を使っていることで、保護者の方が取り上げたところ、家で暴れると相談がありました。(中学校)

学校での人間関係が上手くいかず、満たされない思いをネット上の知らない相手と交流することにより気持ちを安定させています。(中学校)

いつも仲良しの女子グループから、ネット上で悪口を書かれたと言って、泣きながら保健室に訴えてきました。(小学校)



メディアの過度の利用は、睡眠障害、遅刻・欠席の増加、学業不振の原因になるばかりか、孤独感の助長、攻撃性の亢進、規範意識の欠如、抑うつ傾向などの心理・社会的問題を抱えやすいことも明らかになっています。

本当は何とかしたい子どもたち、でも自分だけでは解決できない

一上越教育大学附属中「メディアに関するアンケート」結果

一部抜粋 全校生徒 364 名対象 H27 年 7 月一

「メディアの利用で困っていることや悩み」

- ・やめられない止まらない、一度使うとなかなか終われません。どうしたらいいでしょうか。
- ・時間の無駄になることが多く、結果、イライラしてくる。
- ・頭ではわかっているけども使用時間をコントロールできない。
- ・動画を見ていると、他にも見たいものが見つかって、なかなかやめられない。
- ・どのように、上手く効率よく使えばいいのかわからない。
- ・毎晩眠れないので、仕方なくスマホを見て眠ろうとしている。
- ・メールをしたらすと、自分からやめようと言いつつ出せない。

アンケートの結果から、メディアを子ども自身で自己コントロールすることの難しさが伺えます。だからこそ、私たち大人には、協働的な取組により、メディア教育を学ぶ場の設定や、行動レベルの積極的対処が求められています。

附属中メディア自己コントロールに関する
親子研修会 (H27年10月)



〈上越教育大学附属中学校養護教諭 中村直美〉

本気でつながる

大町小学校創立60周年



大町小学校は、昭和三十一年（一九五六年）創立の城北小学校に始まり、現在の地に移転、校名を変え、地域と共に歩んできました。今年、創立六十周年を迎えました。それを記念して、様々な人が集まる運動会で「本気」と「つながり」をテーマに航空写真を撮影しました。

大町小学校では子供たちの個々の本気を第一に考え、「本気にやると楽しい、楽しいから本気になる」という本気のサイクルをまわすことで、楽しい学校づくりに取り組んでいます。

そして大町小学校のグラウンドデザインは「子どもを真ん中にみんながつながる」という言葉と、楽しそうな子どもたちを真ん中に、地域、ボランティアなど様々な方々がつながる姿を表現した素敵なイラストが描かれています。

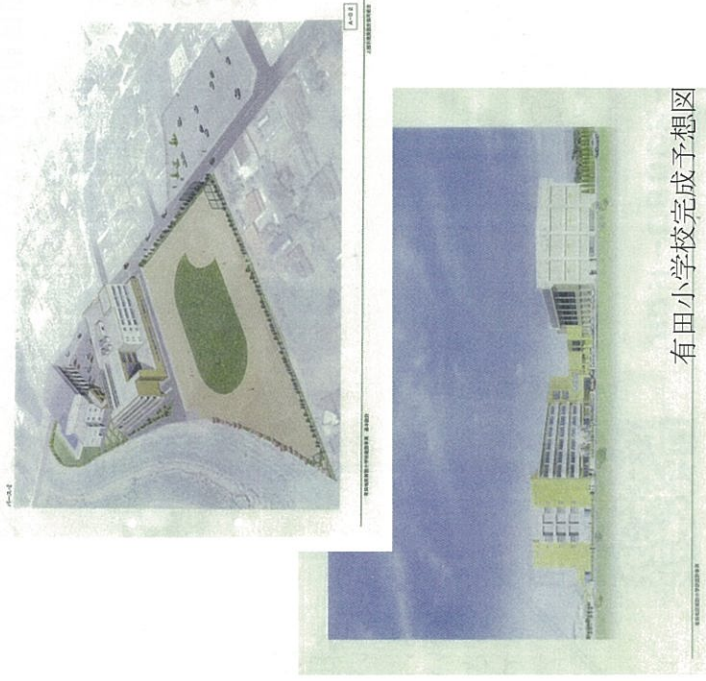


普段子供たちは、地域であったり、ボランティアであったり様々な方の本気によって支えられています、そうした方々とのつながりは、教職員の本気によって強められ、広がっています。しかしながら、それらは普段見えにくく、なかなか気づきにくいため、誤解からいろいろな摩擦が生まれたりしてしまいます。また、支えられている子供たちと保護者が、支援に気づいたとしても、なかなか感謝の気持ちを伝えることができません。

そういった意味で、六十周年の節目となる今年の運動会では、子供たちは、本気の姿を見せることで、本気の大切さと、感謝の気持ちを表現しました。私たち保護者は、人文字で様々な方とつながることで、つながり合うことの大切さを確認しました。ぶっつけ本番の人文字は、不恰好ではありますが、色々な思いと気持ちを込めた一枚です。

子どもたちを真ん中につなげる大町小学校。私たちが大切にしたい「本気」と「つながり」を航空写真によって形にし、後世に残していきたいと思えます。

有田地区統合実行委員会より



有田小学校完成予想図

有田地区統合実行委員会PTA部会では、新しいPTAの組織作りを中心に、PTA規約、役員選考方法等を慎重に協議していきます。また、体操着の選定や春日新田小と小猿屋小のPTA交流も検討しています。そして、新しくできる学校が、子どもたちや保護者にとって、これまでと同様に安心して活動できるPTAを目指し、尽力してまいります。

有田地区統合格実行委員会

PTA部会部長 清水 憲子

アウトメディアについて、インターネットやゲームはまだまだ心配の無い我が家ですが、やはりテレビの視聴時間はとも気になっていました。1度見始めると、つい、だらだら見えてしまいがち。そこで、録画機能をもっと活用してみ事にしました。本当に見たい番組がある時以外は消す！を徹底。複数見たい番組がある日は、録画しておいて、見たい番組の無い日に見ます。絶対見たい番組組って以外と少なかつたので、録画機能を活用するようになってから、1日の視聴時間は本当に少なくて済むようになりまりました。

「アウトメディア宣言」後の感想

今さらですが、様々な端末機器を若い年齢から使うのも当たり前の時代。取扱えない者が時代とのギャップを感じながら生活をしていくといった構図(全く悪いことではありませんが・・・)。いつの時代も道具を賢く、器用に使うていくことが自分をプラスに導いてくれるものだと思っております。端末機器を子どもにも与えた親の責任として「アウトメディア宣言」は再認識といった点で良いきっかけとなりました。まずは親の意識、そして子供たちへの教え、といった感じで取り組んでおります。

◆◆ アウトメディアについて ◆◆

- ・フィルタリングはきちんと行っていますか？
- ・一度設定したフィルタリングを子どもにせがまれ解除していませんか？
- ・午後9時以降はスマホ等を子供部屋に持ち込まないなどルールを決めていますか？
- ・相手の悪口は書き込まないなど使い方について話していますか？

発行 上越市小中学校PTA連絡協議会
編集 広報委員会

委員長 太田 一巳 (春日小学校)
副委員長 牛木 洋子 (大和小学校)
委員 新保 哲也 (附属中学校)
松田 功 (上雲寺小学校)
羽根田文和 (春日新田小学校)
金森 潤 (朝陵中学校)
市川 正和 (安塚中学校)
水瀬 英昭 (大潟町小学校)
松岡 央 (美守小学校)
島田 亘 (坂倉中学校)
大山 剛司 (大町小学校)

本部担当 事務局

TEL 025-545-9203 FAX 025-545-9208
E-mail jyou-ptat@joetsu.ne.jp
URL <http://www.j-shipren.org>

ホームページ



市連ホームページのQRコードです。
ご活用ください。

「アウトメディア宣言」は 代議員総会で採択されました。

上越市P連

アウトメディア宣言!

～ネット被害防止のため～
～快適な睡眠を確保するため～

上越市内の



小学生は **原則 午後 8 時以降**



中学生は **原則 午後 9 時以降**

メディアから離れます!

一日の使用時間は2時間以内とします

*～日本小児科医会「子どもとメディア」の問題に対する提言から～

*ここにいるメディアとはテレビ、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機、音楽プレーヤー、タブレット、パソコンを指します。

*昼寝する1時間前にメディアから離れることにより目が休まり快適な睡眠を得られます。

宣言する理由

1. ネットに関わる被害が増加しているため。
2. ルールを作り「家族みんなで」守り、家族と過ごす時間・学習時間を確保するため。
3. 正しい使い方を今一度、親子で確認するため。

宣言期日：平成28年5月14日
宣言機関名：上越市小中学校PTA連絡協議会
会長 保倉 政博



5月19日(木)
教育プラザで
マスコミ発表をしました



編集後記

年2回発行する市P連PRESSですが今年も各ブロック代表の11名で作成しています。今回はアウトメディア中心の記事になりました。次号の内容は未定なので皆さんからこんな記事がいいとか沢山のご意見をお待ちしております。又、原稿を依頼した時にはご協力をよろしくお願いたします。皆さんに楽しんでもらえる市P連PRESSを作りたいと思います。